

～ 第 2 回農山漁村 & 銀座ミツバチフォーラム報告 ～

農山漁村資源開発協会と銀座ミツバチプロジェクトでは、一刻でも早い被災地の復興を願い「日本再生」に向けて、3 回シリーズでチャリティーフォーラムを開催。

その第二弾は、「地域活性化」のエキスパートであります吉澤保幸先生にご講演いただきました。

【日 程】平成 23 年 6 月 22 日

【講 師】吉澤保幸(場所文化フォーラム 代表幹事)

【会 場】銀座紙パルプ会館 第 6 会議室

【テーマ】～ローカルからの新たな国づくり～

人間中心の成長から、お金の質を変え、いのちの持続へ

【挨 拶】農山漁村資源開発協会 代表理事 頭山興助

【司 会】銀座ミツバチプロジェクト 理事長 高安和夫

【主 催】農山漁村資源開発協会

NPO 銀座ミツバチプロジェクト

【協 力】環境と CSR と「志」のビジネス情報誌「オルタナ」

講師プロフィール

1955年新潟県上越市生れ。1978年東大法卒、その後日本銀行での20年の勤務を経て、2001年2月からびあ(株)。現在同社顧問。MBA、税理士。場所文化フォーラム 代表幹事、「とかちの...」、「にっぽんの...」大店長。NPO法人ものづくり生命文明機構常任幹事。NPO法人健康医療開発機構理事

【略歴】

企業経営や税理士業務に関わる一方で、場所文化フォーラムやものづくり生命文明機構等を中心に、これまでの金融経験等を活かしながら、地域活性化のための新たな「志あるビジネス・金融モデル」や「ローカルファイナンス論」の構築を地域金融機関とも連携しつつ図ると共に、東京・丸の内・国際ビルにある場所文化レストラン「とかちの...」、「にっぽんの...」を交流拠点にした全国の地域活性化活動の連携等に注力している。



講師 吉澤保幸



挨拶 農山漁村資源開発協会 代表理事頭山興助



司会 銀座ミツバチプロジェクト 理事長 高安和夫



3月11日の東日本大震災は、戦後65年間ひたすらに求め続けてきた西欧近代文明に基づく物質文明が持続可能でないことを皆に気づかせ、暮らしの風景を一変させ、そして、全てをお金で解決することも出来ないことを痛烈に実感。

日本人がこの間忘れてきた、人と人、人と自然、生と死の結び合いをもう一度取戻すように、「いのちの紡ぎ直し」と「温かなお金の廻し方」を、日本再生のキーワードにして、「ローカルからの新たな国づくり-人間中心の成長から、お金の質を変え、いのちの持続へ」を熱弁。

既実践されている具体例と共に“志民”のための有効な“志金”の仕組みづくりを提唱し、東日本大震災に学ぶ、復興再生に向けた新たな地域活性化と国づくりを提言された。